



進路だより

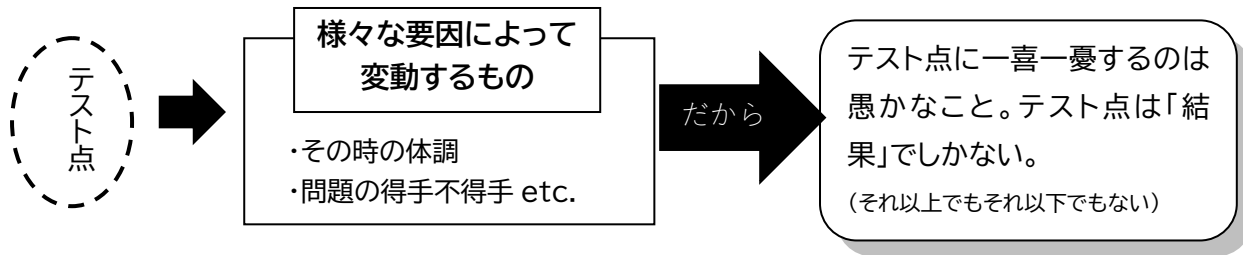
町田市立小山田中学校

2025年6月26日発行

第8号

テストを活用する意識をもちましょう！！

先週期末考査が終了し、今週はテスト返却が続いていると思います。思い通りの結果が出た人や、想像以上の出来だった人もいると思いますが、反対に「思ったよりできていなかった…」、「このままではまずい…」と思った人もいると思います。そこで、皆さんにお伝えしたいことは、【テストの結果に踊らされることなかれ！】です。もちろん、テストの結果をもとに振り返りや反省はしてもらいたいのですが、テスト結果に振り回されずに今後のテストの対策に利用してください。



■テストをどう位置付けたらよいか ~テストと受験勉強~

- ・定期テストは「3年で行ったことの確認」に使ってください。
⇒3年の受験勉強は、日々の授業と定期テストの勉強でこなしていくという考え方。

テスト前が大切！

- ・学力テスト・模擬テストは「自分の弱点発見と目標設定」に使う
⇒1・2年の内容の定着度を確認。自分の得手不得手を明らかにして、学力アップのための努力目標を定める。**テスト後が大切！**

■「合計〇〇〇点」に一喜一憂しません ~定期テストの結果と次回への作戦~

- ・点数に間違いがないかどうか確認してください。
- ・今回の反省と次回への抱負を考えてください。
※点数に間違いがあった場合は、その教科のテストを持って担任または教科の先生にすぐに申し出てください。

■定期テストは自分を計るバロメーターです

「3年になった！心機一転！ガンバルぞ！」と定期テストに臨んだものの、今回は思ったような点ではなかった…という人もいると思います。しかし、期末テストであきらめる必要は全くありません。今こそ、これまでの自分を計ることができる最後の確認のチャンスです。

そこで、次のことについて確認してください。

- どの単元でつまづいたか。(計算？証明？応用？)
- ケアレスミスか
- 理解不十分だったのか
- 全く手が出なかったのか。



点数はもはや「結果」です。それ以上でもそれ以下でもありません。大切なのは「3年の学習内容が理解できたかどうかをテストで確認する」という取り組み方。理解できてない部分を洗い出し、徹底して解決するのがテストの有効利用。すぐにやるのが大事です。